

[．供給計画の主な概要]

1．電力需要の見通し

a) 販売電力量

- ・ 平成 19～30 年度までの年平均増加率は、1.0% (気温うるう補正後)
- ・ 平成 21 年度は、至近の景気の厳しさを反映し、前年度比 0.3%減

b) 最大電力

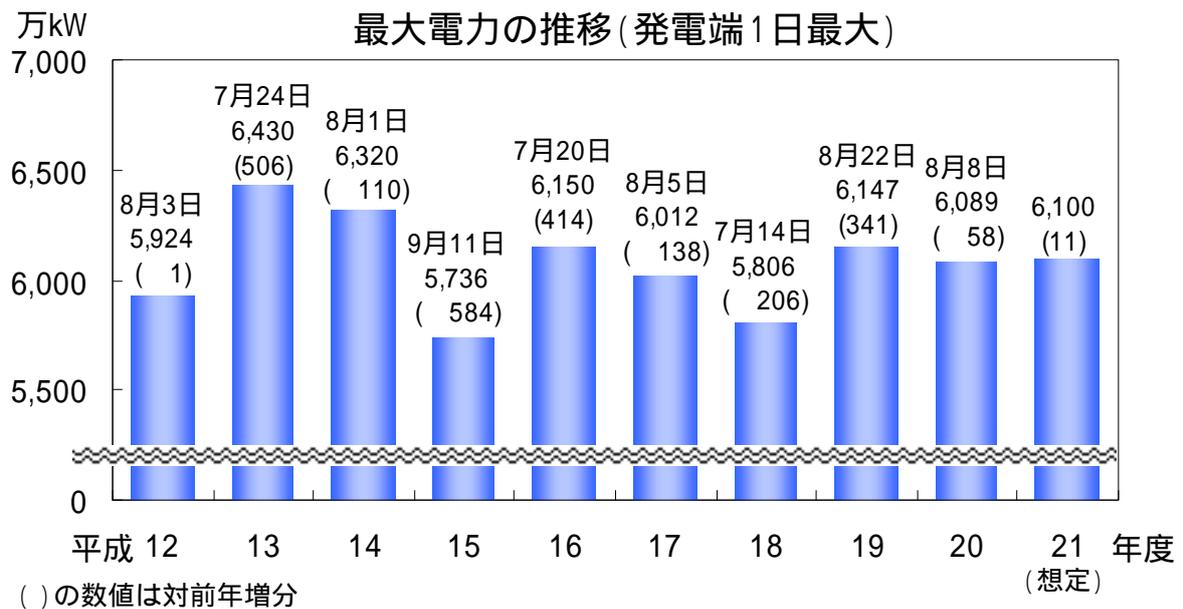
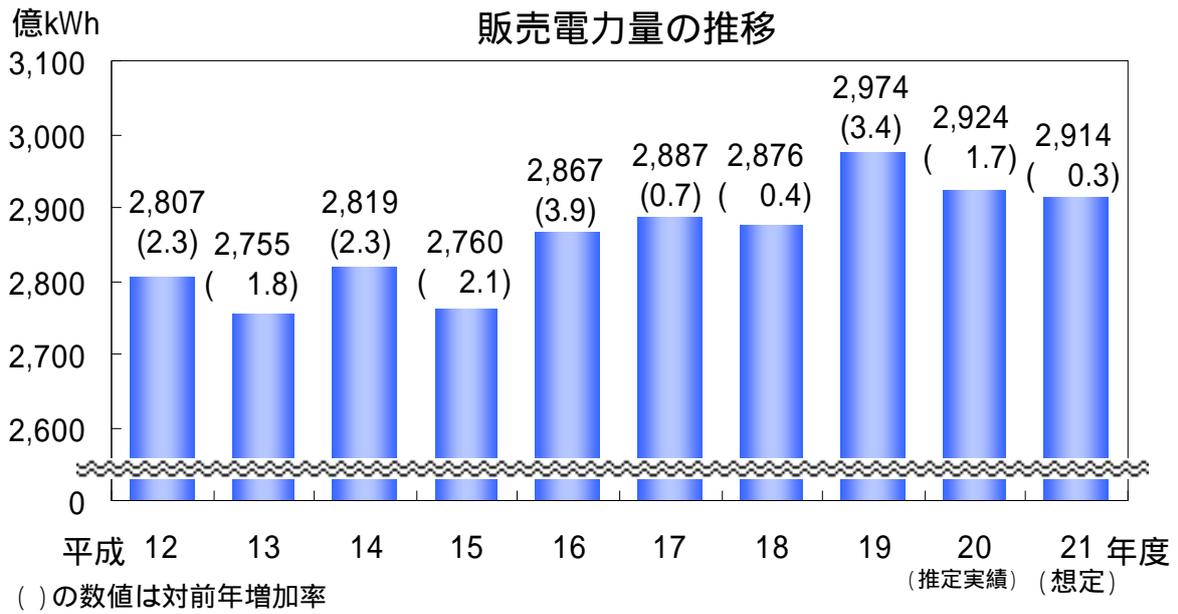
- ・ 平成 19～30 年度までの年平均増加率は、0.7% (気温補正後)
- ・ 平成 21 年度は、6,100 万 kW (発電端 1 日最大)

販売電力量・最大電力の見通し

項目	年度	平成19	20	21	30	年平均増加率 (%/年) 19～30	前回計画との比較 平成29 (2017)	
		実績 (2007)	推定実績 (2008)	(2009)	(2018)		今回	前回
販売電力量 (億kWh)		2,974	2,924	2,914	3,291	-	3,248	3,223
	対前年増加率 (%)	3.4 (1.9)	1.7 (1.1)	0.3 (0.0)	-	0.9 (1.0)	前回差 +25億kWh 前回比 100.8%	
最大電力	送電端最大3日平均 (万kW)	5,896	5,891	5,824	6,228	-	6,174	6,236
	対前年増加率 (%)	6.7 (0.2)	0.1 (1.0)	1.1 (0.3)	-	0.5 (0.7)	前回差 62万kW 前回比 99.0%	
	発電端1日最大 (万kW)	6,147	6,089	6,100	-	-		

(注1) 販売電力量の()内は気温うるう補正後、最大電力の()内は気温補正後の増加率。

(注2) 販売電力量の20年度推定実績は、20年度第3四半期決算時(21.1/30公表)の20年度見通しを採用。



2. 電源設備計画

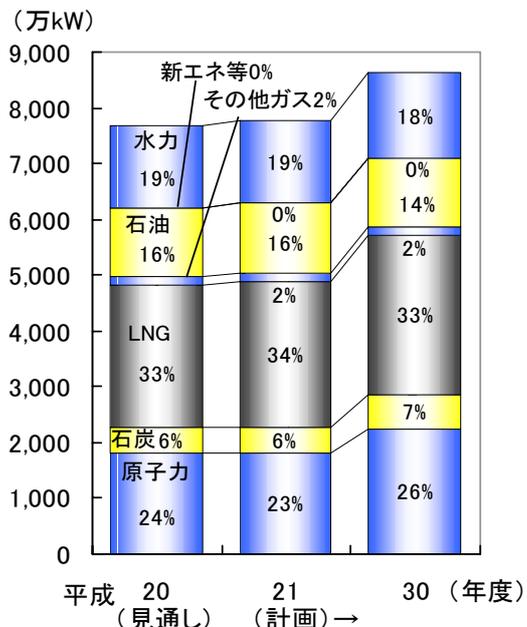
<主要な電源開発>

	地点名	出力(万kW)	運転開始年月
原子力	福島第一7、8号	各138	27/10、28/10
	東通1、2号	各138.5	29/3、31年度以降
石炭火力	常陸那珂2号	100	25/12
	広野6号	60	25/12
LNG火力	富津4号系列	152	20/7、21/12、22/10
	川崎2号系列	192	25/2、28年度、29年度
揚水式水力	葛野川	160	11/12、12/6、31年度以降
	神流川	282	17/12、24/7、31年度以降
新エネルギー	扇島太陽光	1.3	23年度
	浮島太陽光	0.7	23年度
	東伊豆風力	1.837	23/10

<電源の広域開発計画>

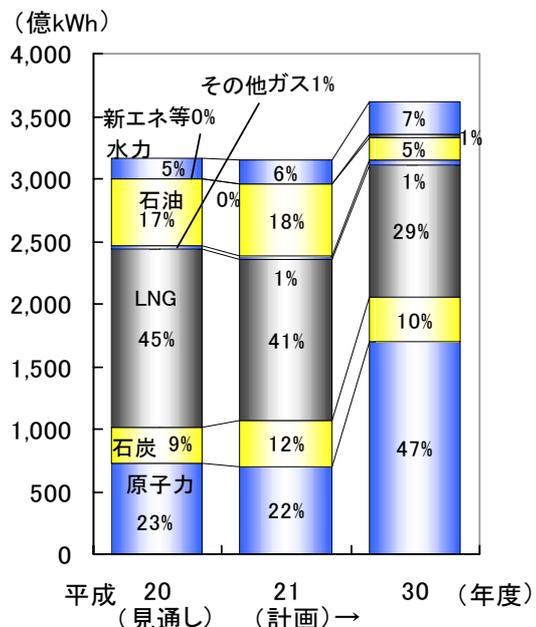
	地点名	開発会社	出力(万kW)	運転開始年月
原子力	大間	電源開発(株)	138.3	26/11
石炭火力	磯子新2号	電源開発(株)	60	21/7

<年度末電源設備量の推移>



(注) 他社受電を含む

<発電電力量の推移>



(注) 他社受電を含む

(参考) 電気事業設備投資額

平成21～23年度の3年間平均で7,500億円程度を見込んでいます。